

福島大学貴重資料集 第1号

Fukushima University, Material Report, no. 1, March 31, 2010



目次

- カワウソ剥製標本 (2)
- 福島大学経済短期大学部柱時計 (3)
- 二宮文庫書棚 (4)
- 福島県師範学校長肖像画 (5)
- 福師甲子園野球大会活躍の掛図 (6)
- 離合社製海洋観測器具 (7)
- 摺上川産底生動物液浸標本 (8)
- 日本産アザミウマ類プレパレート標本 (9)
- 福島大学共生システム理工学類生物標本室植物標本(FKSE) (10)
- 福島大学考古学研究会発掘資料 (11)

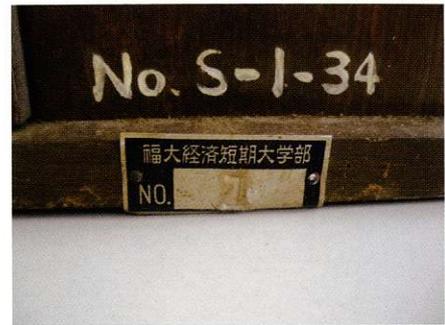


カワウソ剥製標本

国の特別天然記念物で、現在日本では絶滅しているのではないかと考えられているカワウソの完全な剥製標本(全身)である。標本の台座の裏面には、「野州日光大谷川産 明治十九年十一月採集」と産地と採集年月日が記録されている。日本にある最も古い標本の1つで、大変貴重な標本である。

- 資料点数 1点
保管場所 人間発達文化学類木村吉幸研究室(共生システム理工学類棟 721室)
参考文献 安藤元一(2008)ニホンカワウソ. 東京大学出版会, 東京.
木村吉幸(2004)オオカミとカワウソの剥製標本. *Animate* (5): 17-18.
木村吉幸(2004)小さな哺乳類. 歴史春秋社, 会津若松市.

執筆・写真: 木村吉幸(人間発達文化学類)



福島大学経済短期大学部柱時計

株式会社服部時計店の工場である精工舎製で製造番号#1805。振り子部分のガラスには「贈 卒業記念 福島大学経済短期大学部第一回卒業生一同」と記されており、1952(昭和27)年4月に発足した経済短期大学部(夜間3年, 学生定員80名)の第一回卒業生(1955(昭和30)年3月卒, 81名)が寄贈したものと考えられる。背面下部には福島大学経済短期大学部の備品プレートが打ち付けてある。

資料点数 1点
保管場所 経済経営学類文書庫(経済経営学類棟2階)
参考文献

執筆:小沼康治(経済経営学類)・黒沢高秀(共生システム理工学類)



二宮文庫書棚

福島市初代市長であった二宮哲三氏が収集した書籍を二宮文庫として収納していた専用の書棚。書棚の上部に「二宮文庫」と記名されている。経済経営学類の前身である福島高等商業学校が1942(昭和17)年に二宮哲三氏より書籍とともに寄贈を受けた。書籍は他の図書とともに混配したため、書棚のみ保管中。

資料点数 1点

保管場所 福島大学附属図書館2階踊り場

参考文献 福島大学附属図書館(編)(1996)福島大学附属図書館百科. 福島大学附属図書館, 福島.

歴代知事編纂会(編)(1983)日本の歴代市長: 市制施行百年の歩み. 歴代知事編纂会, 東京.

執筆:小椋正行(附属図書館) 写真:難波謙二(共生システム理工学類)



福島県師範学校長肖像画

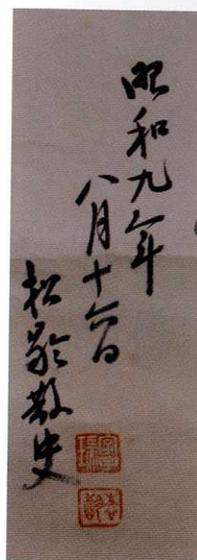
1913(大正2)年, 当時の福島県師範学校(人間発達文化学類の前身)校長津田元徳の依頼により作成された油絵の肖像画。写真左は初代校長の久米由太郎[在職年1874(明治7)年4月～1882(明治15)年10月], 写真右は第10代校長の住田昇[在職年1895(明治28)年12月～1898(明治31)年1月]。5点のうち, 「久米由太郎像」と「稲枝俊太郎像」は, 東京美術学校出身の油井夫山により, 「中村恭平像」・「住田昇像」・「広瀬為四郎像」は, 同美術学校出身の紺野三郎によって制作された。どの作品も写真をもとに制作されている。

資料点数 5点

保管場所 福島大学附属図書館研究用閲覧室

参考文献 福島大学附属図書館(編)(1999)福島大学創立50周年記念 福島大学附属図書館所蔵貴観書展 展示資料解説書. 福島大学附属図書館, 福島.

執筆:小椋正行(附属図書館) 写真:難波謙二(共生システム理工学類)



福師甲子園野球大会活躍の掛図

1934(昭和9)年福島県師範学校(人間発達文化学類の前身)野球部が大活躍した際の様子を活写した掛絵である。風帯がつき、太い下軸をもつ、本誌が3コマからなる軸長62cmのものである。上段は、全国中等学校野球大会東北大会において甲子園初出場を決めて帰福し、市内凱旋自動車パレードの図である。あとの2枚は共に、甲子園球場で行われた、第20回全国中等学校野球優勝大会第4日目第2試合、対秋田中学戦における福師活躍の場面である。

資料点数 1点

保管場所 福島大学附属図書館保存書庫

参考文献 福島大学附属図書館(編)(1999)福島大学創立50周年記念 福島大学附属図書館所蔵貴観書展 展示資料解説書. 福島大学附属図書館, 福島.

執筆:小椋正行(附属図書館)



離合社製海洋観測器具

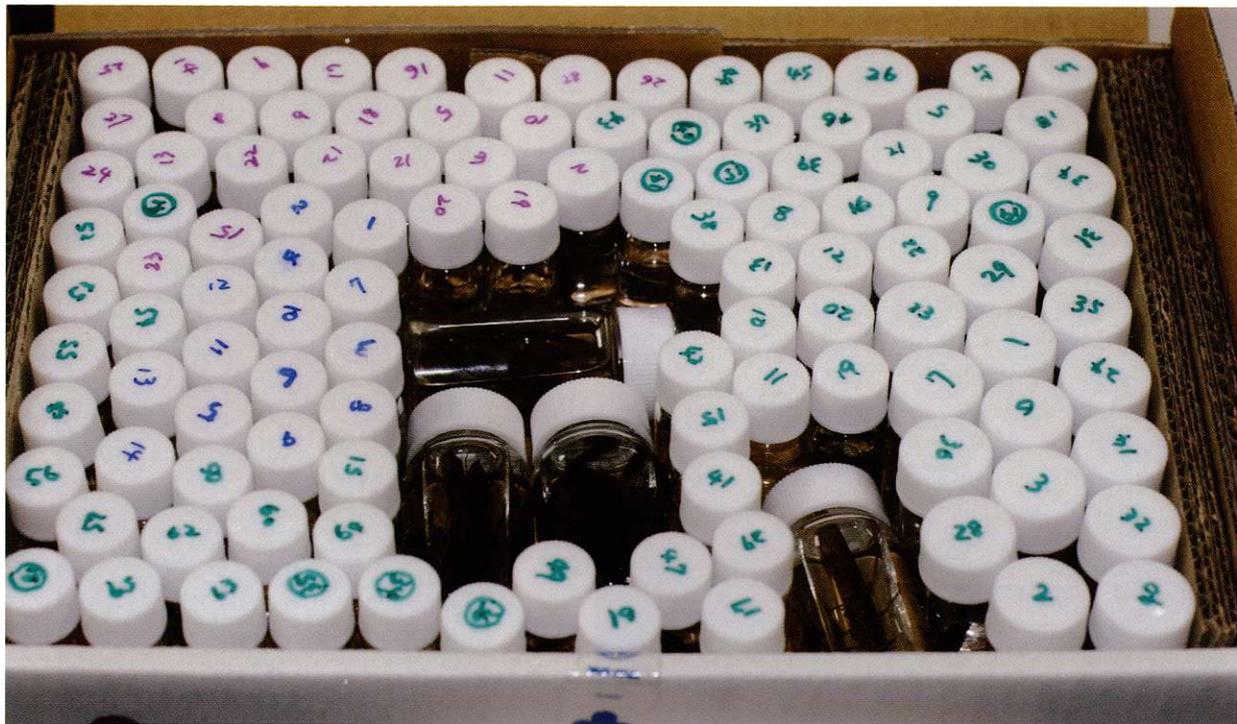
離合社製，1962年頃製造，浅海および湖沼の観測器具。福島大学学芸学部および教育学部（人間発達文化学類の前身）で湖沼観測などに用いたものと思われる。学芸学部の備品シールおよび金谷川キャンパスへの移転時の運び先シールが貼付されている。北原式C号採水器（500 ml，Type2201 no. 95），田中式採泥器，小型プランクトンネット（20cmφ，NXX13?，ガラス製アイマー），pH比色器具（比色箱，比色管 pH1-11および海水用pH7.5-8.4），透明度板（30cmφ，プラスチック），測流板，比重計（1.000-1.030，木箱），棒状温度計（水銀，-10～35℃，木製筒入，Watanabe Keiki no. 25342），海水比重換算表（渡辺信雄編，1962），メッセンジャー，重錐（1.5 kg），メスシリンダー，ロープが1つの木箱に納められている。

資料点数 1 式

保管場所 共生システム理工学類難波謙二研究室（共生システム理工学類棟 301室）

参考文献

執筆・写真：難波謙二（共生システム理工学類）



摺上川産底生動物液浸標本

福島県阿武隈川水系摺上川に生息するカゲロウ目, トンボ目, カワゲラ目, 半翅目, 脈翅目, 鞘翅目, 膜翅目, 双翅目, トビケラ目などの底生動物を経年的に採集した標本である。2005(平成17)年に完成した摺上川ダム建設前の標本もあり(すべてのグループではないが), ダム建設後の底生動物相の変遷を知る証拠資料である。

資料点数 約1万点

保管場所 共生システム理工学類塘忠顕研究室(共生システム理工学類棟 605室)

参考文献 東城幸治・岸本亨・塘忠顕(1997)摺上川の水生昆虫相の変遷について。福島大学特定研究自然と人間(5): 47-54.

塘忠顕・東城幸治・岸本亨(1998)摺上川の水生昆虫相-上・源流域の水生昆虫相を中心にして-。福島大学特定研究自然と人間(6): 53-64.

塘忠顕・山下雄・遠藤絢香(2006)摺上川ダム建設後におけるダム周辺流域の底生動物相。福島大学共生システム理工学類共生のシステム2: 52-53.

塘忠顕・山下雄(2007)摺上川ダム建設後における摺上川の水生昆虫相。福島大学共生システム理工学類共生のシステム5: 55-70.

塘忠顕(2008)阿武隈川水系摺上川ダム直下流域における底生動物相-2007年の調査結果から-。福島大学共生システム理工学類共生のシステム6: 44-53.

塘忠顕(2008)阿武隈川水系摺上川ダム直下流域における底生動物相-2006年-2008年の調査結果の比較-。福島大学共生システム理工学類共生のシステム7: 34-41.

執筆・写真: 塘 忠顕(共生システム理工学類)



日本産アザミウマ類プレパラート標本

福島県内産，南西諸島産，屋久島産，長野県菅平高原産などのアザミウマ類のプレパラート標本。尾瀬国立公園編入地域(特別保護地区含む)の標本など学術的に貴重なものも含む。

資料点数 約2万点

保管場所 共生システム理工学類塘忠顕研究室(共生システム理工学類棟 605室)

参考文献 Masumoto, M. (2009) Taxonomic study of Japanese Thripinae (Thysanoptera, Thripidae), with consideration of supra-generic relationships based on morphological characters. Doctoral Thesis. Tokyo University of Agriculture.
Okajima, S. (2006) The Suborder Tubulifera (Thysanoptera). The Entomological Society of Japan ed., The Insect of Japan Vol. 2. Touka Shobo, Fukuoka.

執筆・写真: 塘 忠顕(共生システム理工学類)



福島大学共生システム理工学類生物標本室植物標本(FKSE)

1930年代以降に主に福島県内で採集された維管束植物標本。小林勝学芸学部(人間発達文化学類の前身)教授のコレクションなど地域史に重要な標本や、斎藤慧氏採集の県内の高山植物標本(尾瀬, 飯豊山, 会津磐梯山など)や佐瀬秀男氏採集の1950年代の郡山市周辺の水生植物標本など学術的に貴重な標本を含む。県のレッドデータブック作成の際の標本など行政上重要な標本を含む。大部分をデータベース化しており, 国立科学博物館やGBIF(地球規模生物多様性情報機構)にデータを提供している。

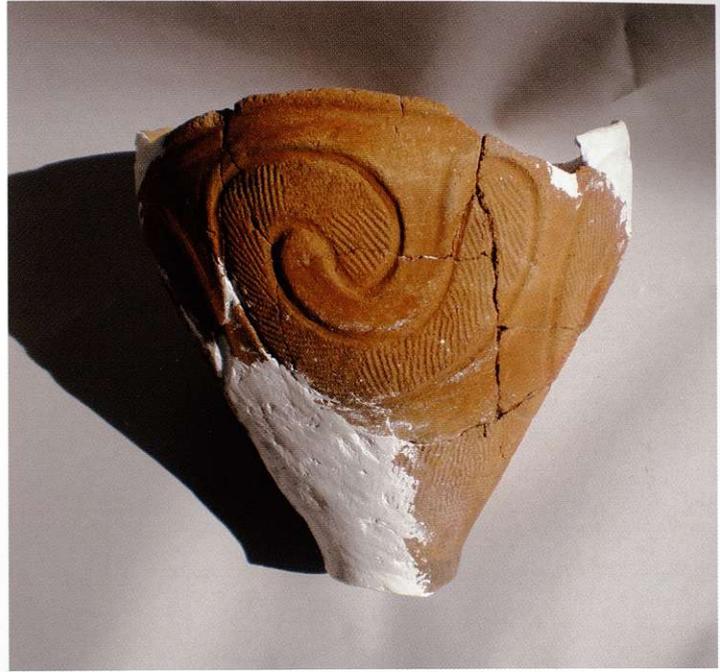
資料点数 約6万点

保管場所 共生システム理工学類生物標本室(共生システム理工学類研究実験棟7階)

参考文献 黒沢高秀(2002)福島大学教育学部の新植物標本室について. フロラ福島(19): 46.

黒沢高秀(2004)福島県内の植物標本の現状と課題. フロラ福島(21): 73-78.

執筆: 黒沢高秀(共生システム理工学類)



福島大学考古学研究会発掘資料

福島師範学校に設置されていた郷土資料室(?)の資料を含み、南相馬市浦尻貝塚出土資料など、考古学研究会初期の1970年代におもに発掘・収集された遺物を中心とする。一部に研究上きわめて重要な資料をふくむが、ほぼ未整理の状態で保管状況は劣悪である。不特定多数のサークル関係者が出入りするため、散逸の危険性大きい。

資料点数 きわめて多数

保管場所 福島大学共通講義棟L-1教室下倉庫

参考文献 福島大学考古学研究会(編)(1971)浦尻貝塚. 福島大学考古学研究会, 福島.
岩淵遺跡発掘調査報告書編集委員会(編)(1976)岩淵遺跡. 福島大学考古学研究会, 福島.
福島大学考古学研究室(2008)福大考古学の20年. 福島大学考古学研究室, 福島.

執筆: 菊地芳朗(行政政策学類)

表紙写真解説

福島県師範学校正門写真
福島大学附属図書館蔵



福島県師範学校は人間発達文化学類の前身で、1897(明治30)年の師範教育令により福島県尋常師範学校から校名変更したものである¹⁾。写っている校舎は1888(明治21)年に作られた舟場町校舎で、堅牢且つモダンな校舎は「東北髓一」といわれた²⁾。写真は掲示板の生徒募集と入札広告の張り紙の日付から明治時代(年月日は読み取れず)のものと思われる。台紙に田村鐵三郎の印が印刷してある。田村は福島で最も初期に活躍した写真師で、福島市宮町に店を構え、『福島縣写真帖』³⁾などに明治から大正期の県内各地の景観や建造物の姿を記録している。

- 1) 福島大学50年史刊行会(編)(1999)福島大学50年史。八潮社, 東京。
- 2) 福島縣廳(編)(1908)福島縣写真帖。児童新聞社, 東京。

お知らせ

福島大学60周年記念貴重資料調査検討会は、「福島大学で保持している、貴重な標本、物品、コレクションを把握し、貴重な資料物品をリスト化し、大学としての誇りや一体感の向上に資する」ことを目的に発足した教職員有志の会です。今回、多くの方々が情報を下さったり、案内をして下さったりしました。また多くの方にお世話になり、励ましを頂きました。ご協力いただいた方々に、心より御礼申し上げます。予算や時間の都合もあり、松川事件資料室の資料など掲載できなかったものが多数あります。第2号以降も続けて発行して行きたいと考えております。

今回わかったのは、貴重な物品資料が大学内に点在していること、そして多くのものが既に失われたり、行方不明になったり、学外へ寄贈されたりしていることでした。まだ多くの貴重な物品が人知れずホコリをかぶっているものと思われます。保存状態が必ずしも良好でない場合も多く、調査は急を要します。そこで、平成23年度以降も調査を継続します。以下の1-3を同時に満たしているものに心当たりがある場合は、お近くの検討会メンバーにご連絡下さい。

- 1 学術的、博物学的、芸術的、骨董的、資料的などの価値があり、一般に資料館、博物館などが積極的に収集、保管の対象としているもの。
- 2 福島大学附属図書館が収集保管を担当している印刷物に当たらないもの(ただし、司書が扱うより学芸員が扱った方が良いものは除く)。
- 3 大学の敷地内にあり、個人や福島大学以外の団体の所有物ではないもの。または個人や福島大学以外の団体の所有物であっても、現在福島大学に寄託中、あるいは寄託や寄贈する意志のあるもの

福島大学貴重資料集 第1号

Fukushima University, Material Report, no. 1

発行日: 2010(平成22)年3月31日

編集・発行: 福島大学60周年記念貴重資料調査検討会

黒沢高秀(世話人), 岡田努, 笠井博則,

菊地芳朗, 澁澤尚, 難波謙二

住所: 福島県福島市金谷川1

福島大学共生システム理工学類内

郵便番号: 960-1296

電話: 024-548-8201

E-mail: kurosawa@sss.fukushima-u.ac.jp